

日時:令和7年2月20日(木)14:00~16:00

場所:津南防災コミュニティセンター 大ホール A

参加者:28名

民生委員、地区社協、地域のケアマネージャー、医師、薬剤師、
在宅介護支援センター、在宅介護療養支援センター

会議の内容

グループワークを通じて「高齢者の見
守り」についてそれぞれの立場で何が
できるのか検討しました。



生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは
地域のみなさんとともに地域
での支え合いの仕組みづくりに
取り組んでいます。

Vol.53

令和7年
2月20日

育生地区 地域ケアネットワーク会議 津中部東包括支援センターと共催

現在工夫している事や意識している事

- ・民生委員だけでなく、自治会長などとも情報を共有している
- ・昔ながらの地域なので、ご近所同士の気かけ合いがあり、何かあったら相談がくる仕組みができています
- ・雨戸の開閉や郵便物、ゴミ出し等日常生活の中でながら見守りをしている

困っている事

- ・独居で認知症のある方をどのように支えていくか
- ・地域活動等に参加せず、地域でつながりのない人を専門職がどのように把握するか
- ・本人や家族が「ほっておいてほしい」と言われる場合がある
- ・新しいアパートの入所者などは関係性が築きにくい

それぞれの立場でできること

- ・本人の了解を得て、関係機関同士で情報共有をし、それぞれの強みを出しながらつなぐ
- ・子どもの時から地域行事に参加し、人とつながることを日常とする
- ・住みやすい地域にしていけると嬉しい。今後も『つなぎ』を心がけていきたい

会議を通して、皆さんそれぞれの立場で

「育生地区を良くしていきたい」

という思いを感じた。

これからも、このような話し合いを通じ
て、地域の事を考えていけたらと
思う。



育生地区民児協 副会長 ↑
富田さん

平時での連携は大切だと思う。

今は、災害というと東南海地震が起
こった時の対策について話し合うこと
が多い。

もっと身近な台風や線状降水帯な
どの自然災害時における関係機関の
役割や連携についても話し合いの場
が必要だと思う。

河村クリニック→
院長



皆様と話し合うことで「つながる大切さ」を改めて実感しました。すぐには解決できない課題もありますが、地域ケアネットワーク会議の回数を重ねることで、顔の見える関係性作りを行い、地域の実情やニーズの把握を目指していきたいと思っております。

今後も皆様方のご協力が必要となってきます。
引き続きよろしくお願いいたします。